

研究発表の日程 —10月18日（水）午後—

第 1 会場

脱炭素化部門（計画） 13:00～14:15（計5題） 座長：東京大学大学院教授 滝沢 智	
10-1	公営企業としての脱炭素化 徳島市における取組－ 徳島市上下水道局 吉田 憲一
10-2	松本市における「マイクロ水力発電」事業 松本市上下水道局 矢口 健治
10-3	熊本市上下水道事業における持続可能な 脱炭素社会の実現に向けた多面的な取組 熊本市上下水道局 荒木 佑仁
10-4	カーボンニュートラルの実現に向けた段階 的な取組詳細 東京設計事務所 池 和歩
10-5	数値最適化を用いた施設配置検討による 水輸送工程の大幅な電力量削減の検証 日本総合研究所 鈴木 元彬
脱炭素化部門（電力調整） 14:20～15:35（計5題） 座長：東京大学大学院教授 長岡 裕	
10-6	令和4年度電力ひっ迫による浄水場等の 節電の取組 横浜水道局 堀 芳樹
10-7	脱炭素化水運用のためのポンプ最適運転 計画 アズビル 住友 宣仁
10-8	浄化施設における脱炭素化と電気料金 低減化などの取組 新潟水道局 福田 匠汰
10-9	広島県内の水道施設を活用したディマン ド・レスポンスへの参画 －アグリゲーターへのネガワット供出－ 水みらい広島 山本 将也
10-10	脱炭素社会実現に向け浄水施設における デマンドレスポンス活用による需要側 の電力需給バランス調整能力拡大事例 久留米市企業局 清水 淳
脱炭素化部門（省エネ・再エネ） 15:40～16:55（計5題） 座長：国立保健医療科学院上席主任研究官 浅見 真理	
10-11	二次凝集池攪拌機回転数制御による省電 力効果の検証 月島ジェイテクノメンテサービス 矢部 翔大
10-12	濃縮槽への回転羽根付スラッジ掻き機の 適用（Ⅳ） －CO ₂ 削減効果－ 西原環境 田中 宏樹
10-13	電気料金高騰への対応 －小水力発電設備設置配水場における送 水ポンプ運転台数変更による経済効果 堺市上下水道局 増井 賢司
10-14	大阪広域水道企業団におけるカーボン ニュートラルに向けた取組 －村野浄水場への太陽光発電設備の導入－ 大阪広域水道企業団 上田 康平
10-15	地球にやさしい水道へ挑戦 －水道事業における小水力発電への取組－ 福島市水道局 瀧美 誠

10月18日（水）午後 計15題

第 2 会場

事務部門（広報・広聴①） 13:00～14:00（計4題） 座長：東京経済大学教授 青木 亮	
1-1	for Kids プロジェクトの実施 野田市水道部 田中 愛多子
1-2	専門学校との協働による日本遺産デザイ ン消火栓鉄蓋の作製と広報 岡山市水道局 桂 広大
1-3	配水調整システムの効果的なPR方法の 検討 福岡市水道局 吉岡 達也
1-4	親子サポーター制度による市民参加と啓 蒙活動 岡崎市上下水道局 久米 遥
事務部門（広報・広聴②） 14:05～15:05（計4題） 座長：中京大学准教授 齊藤 由里恵	
1-5	生まれ変わる広報紙 －水道をより身近に感じてもらうために－ 福島市水道局 白山 来夢
1-6	広報戦略の策定と広報効果の評価・改善 モデルの開発に関する研究 川崎市上下水道局 下野 ひなた
1-7	これからの水道事業における広報のあり 方の一考察 －「水道事業における広報マニュアル」 の改訂から得られた知見より－ 日本水道協会 初芝 美寿々
1-8	首都直下地震に備えた東京都水道局の広 報施策 －東日本大震災から学ぶ－ 東京都水道局 植竹 清美
事務部門（広報・広聴③） 15:10～16:25（計5題） 座長：早稲田大学研究院准教授 佐藤 裕弥	
1-9	水道水源林ポータルサイトみずふるの開 発 東京都水道局 山田 北斗
1-10	大学生へ向けた水道授業 －水道利用者への情報発信と持続可能な 水道を目指す対話－ 静岡県企業局 上村 慎子
1-11	登録水質検査機関としての役割 －地域の安全な水の供給を支えるために－ 広島県環境保衛協会 奥谷 健太
1-12	デジタルコンテンツ及びクラウドサービ スを活用した浄水場見学の充実 京都市上下水道局 谷 晃輔
1-13	人気コンテンツとのコラボレーションに よる訴求力のある広報 －ライブイン事業の理解促進と水需要 の喚起のために－ 京都市上下水道局 皆越 哲也

10月18日（水）午後 計13題

第 3 会場

計画部門（ICTの活用①） 14:00～15:00（計4題） 座長：一橋大学大学院教授 大瀧 友里奈	
2-1	兵庫県まちづくり技術センターにおける 市の水道技術支援（Ⅴ） デジタル技術導入の効果－ 兵庫県まちづくり技術センター 石川 友啓
2-2	AIによる漏水予測の活用に向けて －熊本市型アセットマネジメントシステ ム構築に向けた共同研究－ 日本水工設計 辻 諭
2-3	給水装置工事業務に係る執行体制の効率化 横浜市水道局 関口 慧樹
2-4	阪神水道企業団におけるデジタル化・ DXに向けた取組 阪神水道企業団 海戸 深幸
計画部門（ICTの活用②） 15:05～16:05（計4題） 座長：関西大学大学院教授 窪田 諭	
2-5	ICTを活用したノウハウの形式知化によ る技術継承に関する共同研究 －水道運営ノウハウの蓄積・継承 専門 スキルが無くても運転管理ができる雇用 創出型の施設・システム作り－ フアック 天崎 崇
2-6	水管路の効率的な総合評価システムの 開発（Ⅲ） －自動グルーピング技術を用いた管路 新案件の検討－ クマタ 興村 勇太
2-7	水施設の運転監視業務における遠隔支 援拠点の活用 余市町建設水道部 上枝 良
2-8	水道水質毎日検査結果データのデジタル 化による業務効率化 京都市上下水道局 中嶋 紀彰
計画部門（官民連携） 16:10～17:10（計4題） 座長：東京大学大学院教授 滝沢 智	
2-9	水道施設包括維持管理業務の共同発注 に向けた取組み 河内長野市上下水道部 宮本 貴啓
2-10	DB方式を採用した春日井浄水場沈澱池 整備事業 名古屋市上下水道局 尾藤 恒太
2-11	群馬東部水道事業運営継承プログラムマ ンションセッションの紹介 －包括事業委託における技術継承の手法－ 群馬東部水道サービス 笠原 義之
2-12	新浄水場共同整備事業による広域化と施 設再編成 －官民連携による事業手法の検討－ 長崎市上下水道局 二里 電平

10月18日（水）午後 計12題

第 4 会場

計画部門（広域連携） 13:00～14:30（計6題） 座長：国立保健医療科学院上席主任研究官 浅見 真理	
2-13	水道事業の基盤強化に向けた多様な広域 連携の推進 －北九州市、行橋市及び苅田町における 取組事例－ 北九州市上下水道局 甲斐 大史
2-14	近隣事業者との水道事業連携 －北和都市水道事業協議会－ 奈良市企業局 森崎 匠哉
2-15	広島県水道広域連合企業団の施設整備計画 －広域化による施設の最適化－ 広島県水道広域連合企業団 石橋 真史
2-16	広島県水道広域連合企業団の設立と今後 の事業展開 －広島県と県内14市町による経営の一 体化－ 広島県水道広域連合企業団 谷口 淳
2-17	用水供給を持たない県下の市町村にお ける水道広域化推進プランの策定 日本水工設計 松田 亮一郎
2-18	水道事業における広域化と官民連携の実 践事例 －「群馬東部水道企業団事業運営及び拡 張工事等包括事業」6年目報告－ 明電舎 山下 拓也
浄水部門（凝集・沈澱①） 14:35～15:50（計5題） 座長：東北大学大学院教授 佐野 大輔	
4-1	旭岡浄水場 疑似濁水を用いた高濁水発 生時における浄水処理の検討 データベース 上野 寛幸
4-2	山間部浄水所における消毒副生成物対策 に向けたPAC注入指針の策定 東京都水道局 大竹 慶祐
4-3	画像センサー型凝集剤自動注入制御シス テムの開発 －河川水の水濁度変動に対する制御特性－ オルガノ 福水 圭一郎
4-4	凝集プロセス画像のAI判定による凝集 条件最適化に向けたフロック画像前処理 技術の開発 前澤工業 渡 海
4-5	フロック粒子抽出アルゴリズムによる沈 降速度分布の算出 －新たな凝集管理手法の提案－ 中央大学大学院 明山 倫太郎
浄水部門（凝集・沈澱②） 15:55～17:10（計5題） 座長：横浜国立大学大学院教授 岡崎 慎司	
4-6	ピコ植物プランクトン添加凝集試験の蛍 光・非蛍光微粒子数による解析 千葉県企業局 田中 宏憲
4-7	淀川原水の凝集沈澱処理における凝集補 助剤としてのポリアクリルアミドの検討 大阪市水道局 森本 尊史
4-8	天然有機高分子凝集剤の浄水処理への適 用（Ⅰ） －高濁度原水への対応－ 水道機工 松田 漢登
4-9	天然有機高分子凝集剤の浄水処理への適 用（Ⅱ） －微生物除去について－ お茶の水女子大学大学院 張 慧理
4-10	水道用高分子凝集剤を用いた浄水処理 （Ⅴ） －アクリルアミド非含有高分子凝集剤の 冬季排水処理への影響－ 水ing 谷村 優也

10月18日（水）午後 計16題

第1会場	東京ビッグサイト	会議棟1階	101会議室
第2会場	東京ビッグサイト	会議棟6階	605会議室
第3会場	東京ビッグサイト	会議棟6階	606会議室
第4会場	東京ビッグサイト	会議棟6階	607会議室
第5会場	東京ビッグサイト	会議棟6階	608会議室
第6会場	東京ビッグサイト	会議棟6階	609会議室
第7会場	東京ビッグサイト	会議棟6階	610会議室
第8会場	東京ビッグサイト	会議棟7階	701・702会議室
第9会場	東京ビッグサイト	会議棟7階	703会議室

第 5 会場

浄水部門（薬品注入制御）	
13:00～14:45（計7題）	座長：山梨大学大学院教授 原本 英司
4-11	汎用コントローラを用いた砂ろ過機の 次電注入によるろ過水残留濃度制御シス テムの構築 群馬工業高等専門学校 永井 孝太
4-12	塩素注入最適化アプリケーションの開発 －実フィールドにおける検証－ 東芝インフラシステムズ 毛受 卓
4-13	実施設における簡易的なアルカリ剤注入 方法の検証試験 神奈川県内広域水道企業団 金子 透
4-14	成田給水場次亜塩素酸ナトリウム注入設 備の更新 千葉県企業局 秋元 駿平
4-15	機械学習を活かした凝集剤注入制御技術 の開発 －猪名川浄水場運転データでの検証－ クボタ 権 大維
4-16	放光型浄水場における薬品注入適正化に 向けての考察 久留米市企業局 近藤 翔平
4-17	微粒子を含む原水における E260 の簡便 な測定方法の検討 札幌市水道局 沼澤 勇輝

浄水部門（活性炭①）	
14:50～15:50（計4題）	座長：福山市立大学名誉教授 堤 行彦
4-18	活性炭を触媒とするマンガンの酸化処理 における攪拌強度、水温、および凝集操 作の影響 メタウォーター 齋藤 俊
4-19	粉末活性炭によるかび臭原因物質吸着に おける攪拌強度、水温、および凝集操 作の影響 メタウォーター 村田 直樹
4-20	粉末活性炭吸着による 2-メチルイソブ ルネオール除去およびトリハロメタン生 成能の低減 －凝集沈殿ろ過処理工程を含めた汎用 炭、高性能炭、微粉炭の吸着能の基礎調 査－ 北海学園大学 安藤 直哉
4-21	粉末活性炭による吸着処理後の 2-MIB 残存率推定に対する IAST-Freundlich model の適用性評価 東芝インフラシステムズ 海老原 聡美

浄水部門（活性炭②）	
15:55～16:55（計4題）	座長：北海学園大学准教授 安藤 直哉
4-22	粉末活性炭の注入配管内での固着－ 九十九里地域水道企業団での事例－ 九十九里地域水道企業団 小泉 圭夫
4-23	大貝浄水場における粉末活性炭及び粒状 活性炭の効果の検証 長岡市水道局 岡田 理子
4-24	山間部浄水施設における粒状活性炭塔の 交換周期の検討 東京都水道局 西村 元気
4-25	粒状活性炭の使用年数経過に伴う水処理 性への影響 阪神水道企業団 井筒 祐一

10月18日(水) 午後 計15題

第 6 会場

水質部門（かび臭・活性炭）	
13:00～14:30（計6題）	座長：東京大学准教授 春日 郁朗
8-1	琵琶湖南湖のかび臭発生と水質及び気象 との相関 －大津市柳か崎浄水場原水におけるかび 臭濃度と水質の関連性－ 大津市企業局 竹内 洋祐
8-2	水源事業場からのかび臭物質排出に伴う 当局の対応 名古屋市上下水道局 福田 智
8-3	リアルタイム PCR を用いた藻類のかび 臭産生能の判別 茨城県企業局 前島 克樹
8-4	スビロギラ発生時の前塩素処理及び粉末 活性炭の同時注入 広島市水道局 友永 裕一郎
8-5	粉末活性炭の評価方法の追加導入 倉敷市環境リサイクル局 齋藤 喜彦
8-6	高濃度 2-MIB 粉末活性炭処理におけ る脱着と返送水の関係 滋賀県企業庁 中村 優

水質部門（農薬、有機フッ素化合物）	
14:35～15:35（計4題）	座長：岐阜大学教授 李 富生
8-7	農薬汚染事故時の検査方法と活性炭によ る除去性 岐阜県東部広域水道事務所 菱田 真弘
8-8	新規測定対象農薬（テフトリオン、 トリクロビル及びフィプロル）の分析 方法に関する検討 東京都水道局 清水 彩加
8-9	粒状活性炭処理における有機フッ素化合 物吸着性能の評価（Ⅱ） 沖縄県企業局 内間 一志
8-10	水道水中の有機フッ素化合物（PFAS） 80種の LC/MS/MS 一斉分析法の検討と 検出実態調査 国立医薬品食品衛生研究所 小林 憲弘

水質部門（ウイルス、細菌）	
15:40～16:55（計5題）	座長：国立医薬品食品衛生研究所室長 小林 憲弘
8-11	手取川の高濁度原水中の放線菌数の調査 石川県手取川水道事務所 鶴谷 亮太
8-12	水道におけるウイルスのリスク管理の国 際動向と PMMoV 遺伝子マーカーの有 用性 国立保健医療科学院 三浦 尚之
8-13	配水系統における特定細菌によるバイオ フィルム形成の可能性 宇都宮大学 菅野 幸輝
8-14	宿泊施設浴室シャワーヘッドの内面に形 成された生物膜の微生物群集構造の特性 東京大学 芝崎 絵理子
8-15	実態調査に基づいた従属栄養細菌と一般 細菌数の関係性評価 阪神水道企業団 瀧野 博之

10月18日(水) 午後 計15題

第 7 会場

給水装置部門（水道メーター）	
13:00～14:30（計6題）	座長：早稲田大学大学院客員教授 松井 佳彦
6-1	スマート水道メーターより得られる水道 データを活用したフレイル検知の予備検討 －生活パターン変化検出手法の提案－ 愛知時計電機 森田 大輝
6-2	スマート水道メーター用防水型通信機器 の開発 東洋計器 中島 寛人
6-3	水道スマートメーター対応鉄製メータ ーボックスの電波伝搬特性改善に関す る研究 日之出水道機器 立石 栄一
6-4	スマート水道メーターの導入に向けた メーターボックスの通信性能に関する実 験結果 －第3期 A-Smart プロジェクトの成果か ら－ 水道技術研究センター 山内 達夫
6-5	東京都水道局における水道スマートメー ター導入に向けた取組 東京都水道局 上野 潤
6-6	水道スマートメータ導入の実証実験とそ の利活用 名古屋市上下水道局 佐藤 芽

給水装置部門（給水用具等）	
14:35～15:35（計4題）	座長：芝浦工業大学非常勤講師 伊藤 雅喜
6-7	逆止弁の重要性と維持管理 給水システム協会 竹田 優一
6-8	水道給水用高密度ポリエチレン管対応心 臓継手の開発 前澤給装工業 黒沢 向
6-9	メータユニットの維持管理に関する一考察 タブチ 川田 裕太郎
6-10	サドル付分水栓の切粉対策 －不断水施工時における切粉による止 水不良対策 光明製作所 大封 充希

給水装置部門（ICT 活用・業務効率化）	
15:40～16:40（計4題）	座長：中央大学研究開発機構機構構教授 古米 弘明
6-11	給水装置・排水設備工事の電子申請シ ステムのパッケージ化 －電子申請の普及に向けて－ 水道マッピングシステム 小林 美由紀
6-12	指定給水装置工事事業者関連業務の ICT を活用した改善の取組 川崎市上下水道局 高橋 恭平
6-13	給水装置工事申込様式等の標準化に向 けた調査報告 －熊本県内におけるケーススタディ－ 給水工事技術振興財団 普川 靖弘
6-14	e ラーニングによる指定給水装置工事事 業者講習会の実施 東京都水道局 田中 健悟

10月18日(水) 午後 計14題

第 8 会場

導・送・配水部門（管路更新①）	
13:00～14:00（計4題）	座長：関西大学教授 窪田 諭
5-1	管渠生工法の施工事例 －管毛路切換断管更新工事－ かずさ水道広域連合企業団 井上 良幸
5-2	水道用管シールド工法（泥土圧）によ る配水本管（φ1000mm）更新工事の事 例紹介 さいたま市水道局 矢島 真吾
5-3	狭隘な階段部における水道配水用ポリ エチレン管φ300の採用と施工事例 －山の神ポンプ場～大蔵配水池送水管更 新事業－ 北九州市上下水道局 谷上 征也
5-4	東大阪市における管網再構築の取組 －管路口径のダウンサイジング検討－ 東大阪市上下水道局 水谷 義幸

導・送・配水部門（管路更新②）	
14:05～15:20（計5題）	座長：千葉大学理事 藤江 幸一
5-5	配水管網の水理特性調査 伊丹市上下水道局 居原田 健一
5-6	廃止管渠充填工事用充填材の開発検討 花王 岡田 康平
5-7	管路の漏水事故率及び事故件数予測に基 づく更新時期の検討 新潟市水道局 横川 陽太郎
5-8	泥土圧シールドによる巨礫混じり砂礫 層と硬質粘性土の掘削に関する施工報告 東京都水道局 吉本 幸征
5-9	人口減少に伴う水量減少と管路口径の関 係の考察 八戸圏域水道企業団 上野 光弘

導・送・配水部門（管路管理①）	
15:25～16:55（計6題）	座長：京都大学大学院教授 伊藤 禎彦
5-10	水道管内カメラ調査評価認定制度の活用 及び今後の展開 －水道管内カメラ調査の管路維持管理業 務への有効活用－ 東京都立大学 國寶 誓治
5-11	効率的な点検を実現する水道管内 AI 画 像診断技術 東芝インフラシステムズ 助川 寛
5-12	管内情報をセンシング・通信可能な既設 管設置センサの開発 クボタ 辻田 啓志
5-13	第2天山幹線の電氣防止対策 愛知県企業庁 青木 夏海
5-14	円管路洗浄に効果的な気水二相流の水理 特性の研究 宇都宮大学大学院 ISLAM MD RASHEDUL
5-15	LSTM モデルを用いた残留塩素濃度予測 －異なる配水システムのデータを用いた 比較－ 東京都立大学大学院 岩本 祐磨

10月18日(水) 午後 計15題

第 9 会場

導・送・配水部門（技術支援①）	
13:00～14:15（計5題）	座長：北海道大学大学院教授 佐藤 久
5-16	水道工事情報システム（IT 活用）の実 証試験（Ⅳ） 八戸圏域水道企業団 立花 大地
5-17	水道管路の設計・施工支援システムの開発 クボタ 原田 和真
5-18	水道管路の設計・施工支援システムの開発 －施工計画システムの開発－ クボタ 伊東 一也
5-19	水道管路の設計・施工支援システムの開発 －施工情報システムⅡの開発－ クボタ 前田光太郎
5-20	管路の維持管理及び災害対応に関する詳 細な支援ツールの開発 －New Pipes プロジェクトの成果から－ 水道技術研究センター 後藤 大

導・送・配水部門（技術支援②）	
14:20～15:50（計6題）	座長：九州大学特別顧問 楠田 哲也
5-21	AI 劣化診断による機械学習モデルの統 合処理技術 －市町村別の AI 劣化診断モデルの統合－ フジダテ情報 田中 寿一
5-22	HPPE 管施工情報管理システムの開発状況 配水用ポリエチレンパイプシステム協会 佐伯 泰典
5-23	給水所整備における環境や風景づくりに 配慮した取組 東京都水道局 経川 純南
5-24	給水所整備における生産性・安全性向上 に向けた ICT の活用 東京都水道局 山村 菜月
5-25	神戸市管路 DB 方式事業の試行報告 （Ⅱ） － ICT 活用による業務効率化（Ⅱ）－ 東本職工所 金子 武司
5-26	水道配水用ポリエチレン管 概算数量設 計手法の検討（第二報） 配水用ポリエチレンパイプシステム協会 大沼 政明

10月18日(水) 午後 計11題

研究発表の日程 —10月19日（木）午前—

第 1 会 場

英語部門（事務・技術関係①）	
10:50～12:05（計5題）	
座長：北海道大学大学院教授	岡部 聡
11-1	Study on the Improvement Jericho of the Water Supply Management of the Municipality, Palestine パレスチナ ジェリコ市水道事業経営改善の検討 NJS 鬼木 哲
11-2	Performance Indicators (PI), -based Analysis Tools for Potential Improvements of Water Services 業務指標 (PI) を活用した現状分析ツールによる水道事業の改善 水道技術研究センター 高橋 邦尚
11-3	Effective public relations strategies of waterworks for elementary school students-based on the visiting lecture "Waterworks Caravan" 水道事業における小学生に向けた効果的な広報の在り方 東京都水道局 高野 詩織
11-4	Seasonal Variation of Chlorine Residual Prediction using LSTM for a Small-scale Water Distribution System 小規模配水システムにおける LSTM を用いた塩素残留量予測の季節変動 東京都立大学大学院 Brazil Ginalyn Robel Marzan
11-5	Improving the monthly discharge model in the Ogouchi Dam watershed by manual calibration of soil and slope parameters (土壌・勾配パラメータの手動校正による小河内ダム流域の月別流出モデルの改善) 東京都立大学 Gunay Charles John
10月19日（木）午前 計5題	

第 2 会 場

事務部門（財政・料金、経営①）	
10:50～12:05（計5題）	
座長：近畿大学教授	浦上 拓也
1-14	水道料金の見直し 大分市上下水道局 岡本 有未
1-15	水道料金算定における長期前受金戻入の考え方 佐倉市上下水道部 宮崎 有理
1-16	水道事業における内部留保資金と水道料金に関する考察（Ⅱ） 特別会員 佐藤 和哉
1-17	適正な内部留保資金額の考察 -本市水道事業が持続的かつ安定的な運営を行うために- 那覇市上下水道局 中山 淳
1-18	給水原価の水準に関する要因の分析 さいたま市水道局 内海 学
10月19日（木）午前 計5題	

第 3 会 場

計画部門（再構築）	
10:50～12:20（計6題）	
座長：お茶の水女子大学教授	大瀧 雅寛
2-19	ダウンサイジングを考慮した既存浄水場への紫外線処理設備の適用検討 -第2期 UV-ACE プロジェクト- 水道技術研究センター 佐々木 克之
2-20	A-MODELS（Ⅰ）維持修繕・更新に関する研究 -事業体アンケートに関する一次集計の報告- フノウ 齋藤 真太郎
2-21	A-MODELS（Ⅱ）浄水場再構築に関する研究 -水質に応じた浄水システム選定手法（改訂版）作成に向けた事業体アンケートの報告- 前澤工業 山西 陽介
2-22	A-MODELS（Ⅲ）浄水場再構築に関する研究 -浄水場再構築事例集作成に係る事業体アンケートの報告- クボタ 保科 克行
2-23	災害リスク対策を踏まえた水道施設再構築の検討事例 NJS 寺川 奈央
2-24	仁井田浄水場等整備事業の取組 -大規模更新事業を地元企業とともに- 秋田市上下水道局 飯詰 広基
10月19日（木）午前 計6題	

第 4 会 場

浄水部門（高度浄水処理①）	
10:50～12:05（計5題）	
座長：東北学院大学教授	韓 連熙
4-26	高度浄水処理プロセスにおける残留オゾンが軽快活性炭に与える影響 京都大学大学院 山本 直輝
4-27	阪神水道企業団における冬期カビ臭への対応 阪神水道企業団 井上 航
4-28	東京都水道局朝霞浄水場における冬期のかび臭原因物質対応 東京都水道局 小川 智江
4-29	上向流式生物接触ろ過に関する調査 東京都水道局 鈴木 良輔
4-30	生物活性炭担体の使用履歴が異なる上向流式生物接触ろ過におけるアンモニア処理性能と微生物群集構造 京都大学大学院 石崎 悠太
10月19日（木）午前 計5題	

第 5 会 場

リスク管理・災害対策部門（被害予測・リスク評価）

10:50～12:20（計6題）

座長：国立保健医療科学院特任研究官

秋葉 道宏	
9-1	水管橋の合理的な維持管理手法の検討 －水管橋の戦略的点検マニュアル作成－ 目水コン 今村 健一
9-2	地震による管路被害予測に関する一考察 －北海道胆振東部地震を踏まえた予測式 の検証－ 目水コン 細谷 奨
9-3	繰返し三軸試験における砂質土の動的特性 －液状化、サイクリックモビリティ－ 水資源機構 吉久 寧
9-4	和歌山県の水管橋崩落事故を受けた配水 本管水管橋断水時のリスク評価と対策 名古屋市上下水道局 奥山 明里
9-5	気象災害による上水道施設の被害及び影 響に関する調査分析 防災科学技術研究所 永田 茂
9-6	東京の新たな被害想定における水道被害 の算出方法の見直し 東京都水道局 松本 和馬

10月19日（木）午前 計6題

第 6 会 場

水質部門（試験方法①）

10:50～12:05（計5題）

座長：東京大学准教授

風間 しのぶ	
8-16	ホルムアルデヒド測定上の注意点 －容器洗浄溶媒及び脱塩素剤の影響－ 小樽市水道局 谷 佳典
8-17	ヘッドスペース－GC－MSによる水道 水中シアン化物イオン及び塩化シアン迅 速分析法の検討 三重県環境保全事業団 古川 浩司
8-18	CDE法を用いた臭気強度（TON）測定 における嗅力分布の影響の試算 福岡大学大学院 柳橋 泰生
8-19	新潟市における分析用ヘリウムガス不足 対応（Ⅰ） －危機事象として捉えたヘリウムガス不 足対応－ 新潟市水道局 川瀬 悦郎
8-20	新潟市における分析用ヘリウムガス不足対応 （Ⅱ） －ヘリウムガス不足への技術的対応－ 新潟市水道局 松井 利恭

10月19日（木）午前 計5題

第 7 会 場

水質部門（実態調査）

10:50～12:20（計6題）

座長：関東学院大学准教授

鎌田 素之	
8-21	繰返ろ過池における砂層調査と水質管理 の見直し 福山市上下水道局 小笠原 佳織
8-22	浄水場の浄水・排水処理プロセスにおけ るエンドキシンの挙動調査 下関市上下水道局 井上 卓也
8-23	揚水貯留型貯水池における貯水池水質の 変動 北九州市上下水道局 永石 昌也
8-24	カルキ臭前駆物質である有機アミン類の 実態調査 千葉県企業局 安河内 巧
8-25	浄水処理工程における塩化シアンへの調 査 千葉県企業局 根本 隆之
8-26	取水原水中のアンモニア態窒素濃度上昇 に関する要因調査とその対策 仙台市水道局 遠藤 勝俊

10月19日（木）午前 計6題

第 8 会 場

導・送・配水部門（管路管理②）

10:50～12:20（計6題）

座長：東京都立大学特任教授

小泉 明	
5-27	円管を流れる気水二相流の圧力特性 宇都宮大学 門川 菜摘
5-28	高速空気混合洗浄工法による水道管内の 付着物除去効果 宇都宮大学 大矢 桃花
5-29	管路の腐食量モニタリングの取組 横浜市水道局 磯山 朋子
5-30	水道管路におけるアセットマネジメント の実践に向けた実行可能なマイクロマネジ メント構築の取組み（Ⅶ－Ⅰ） －腐食追尾センサーを用いた α 値の評価－ 佐世保市水道局 渡部 公亮
5-31	水道管路におけるアセットマネジメント の実践に向けた実行可能なマイクロマネジ メント構築の取組み（Ⅶ－Ⅱ） －共有システムに有用な水道管路パイタ ルサインの可視化技術－ フジテコム 南 泳旭
5-32	水道管路におけるアセットマネジメント の実践に向けた実行可能なマイクロマネジ メント構築の取組み（Ⅶ－Ⅲ） －可視化技術を活用した管路情報のパイ タルサイン化からマクロの展開へ－ 佐世保市水道局 笹山 太

10月19日（木）午前 計6題

第 9 会 場

導・送・配水部門（管路技術①）

10:50～12:20（計6題）

座長：富山県立大学准教授

黒田 啓介	
5-33	ダクタイル鉄管の内面エポキシ樹脂粉体 塗装の長期耐久性の検証 京都大学大学院 中西 智宏
5-34	水道用埋設鋼管外面被覆材の27年目試験 報告 日本水道鋼管協会 安食 健志
5-35	水道用鋼管の現場溶接から現場塗装まで の必要時間の検討 日本水道鋼管協会 伊藤 孝敏
5-36	テストピースを用いた鋼管の劣化状況調査 神奈川県内広域水道企業団 青木 佑介
5-37	呼び径1650内面エポキシ樹脂粉体塗装ダ クタイル鉄管の開発 栗本鐵工所 柳谷 仁志
5-38	水道配水用ポリエチレン管スタイスオフ 工法の改良に関する報告（第二報） －補強用メカニカル継手の導入検討－ 配水用ポリエチレンパイプシステム協会 小島 賢一郎

10月19日（木）午前 計6題

研究発表の日程 —10月19日（木）午後—

第 1 会場

英語部門（事務・技術関係②）
13:00～14:30（計6題）
座長：国立保健医療科学院主任研究官
三浦 尚之

- 11-6 Determination of the key site for installing an automatic water quality meter by continuous survey to improve residual chlorine control
自動水質計器の増設に向けた残塩状況調査と増設地点の選定
東京都水道局 守茂山 広祐
- 11-7 The effect of data variation on generalization performance by multi-point model: Convolutional Neural Network (CNN)
多点モデルによる汎化パフォーマンスに対するデータ変動の影響：CNN
東京都立大学 Muhammad Anshari Caronge
- 11-8 An Assessment of Challenges Faced During DMA Creation for an Old Water Distribution Network System
- A Case Study of Lilongwe Water Board's DM-A Establishment
リロングウェ市の既存配水管網上のDMA設定時における課題の検証と得られた教訓
リロングウェ水公社 Ernest Ngavale
- 11-9 The Effectiveness of Pressure Management in NRW Reduction Strategies
- A case study of Kawale DMAs in Lilongwe City
マラウイ国リロングウェ市のNRW削減戦略における水圧管理の有効性
リロングウェ水公社 Charity Mkwezalamba
- 11-10 The Role of Policy, Regulatory and Institutional frameworks, and their impact on addressing NRW
- A Case study of Malawi, Lilongwe City
リロングウェ市における政策・制度・制度的枠組みの役割と無取水対策へのインパクト
リロングウェ水公社 Kenneth Kuntambila
- 11-11 Geosmin and 2-Methylisoborneol Removal In Drinking Water Treatment
- A Case Study of Lilongwe Water Board.
リロングウェ市の浄水処理における2-メチルイソボルネオールとジオキサミンの除去対策
リロングウェ水公社 Denis KAMWENDO

リスク管理・災害対策部門（応急給水等）
14:35～15:35（計4題）
座長：三重大学客員教授 朴 惠淑

- 9-7 給水車更新計画の策定と車両配置等の検討
-車両と人材育成のベストミックスの実現に向けて-
西宮市上下水道局 小田 隆大
- 9-8 大規模地震に備えて中規模水道事業体が出ること
-費用抑制した仮設加圧式給水車の普及-
高槻市水道部 石田 裕二
- 9-9 ポンプ車による支援活動
-水資源機構の取組-
水資源機構 柳生 光彦
- 9-10 南海トラフ地震臨時情報発表時の被災事業体支援のあり方
名古屋大学 平山 修久

リスク管理・災害対策部門（事故対応①）
15:40～17:10（計6題）
座長：関東学院大学准教授 鎌田 素之

- 9-11 on-site electrolysis/NaClOのリスク管理
-安全宣言の為に-
特別会員 田村 善胤
- 9-12 明治用水頭首工漏水事故に係る対応
愛知県企業庁 大河 周平
- 9-13 地震による空気弁からの漏水事例とその対処法
大分市上下水道局 板井 智愛
- 9-14 我が国における過去10年間の水道水質関連事故事例の評価
沖繩県企業局 奥村 宗大
- 9-15 シナリオを準備しない水質汚染事故タイムライン作成訓練
横浜市水道局 近藤 浩史
- 9-16 頭部固定式二重土留め工法の浄水施設実施工への適用
鹿島建設 高島 慶一

10月19日（木）午後 計16題

第 2 会場

事務部門（財政・料金、経営②）
13:00～14:30（計6題）
座長：東洋大学大学院客員教授 石井 晴夫

- 1-19 四半世紀ぶりの水道料金改定に向けた合意形成手法
豊田市上下水道局 竹内 農
- 1-20 今後の水道事業経営における収支見直し及び企業債発行の検討
神戸市水道局 植野 大祐
- 1-21 すいた水道の未来をデザインするワークショップ
-フューチャー・デザインを活用と実践-
吹田市水道部 川上 遼
- 1-22 テキストマイニング手法による市民意識の分析
さいたま市水道局 土井 雄紀郎
- 1-23 生田浄水場用地の有効利用
川崎市上下水道局 北村 知洋
- 1-24 水道局所有地の有効活用
-福祉インフラ整備事業による事業用定期借地の取組を中心として-
東京都水道局 米村 顕太郎

事務部門（営業業務・業務の効率化）
14:35～16:05（計6題）
座長：作新学院大学名誉教授 太田 正

- 1-25 ICTを活用した実証実験の報告
-オートコール&SMSを活用した早期収納料-
尼崎市公営企業局 中納 啓輔
- 1-26 お客さま対応におけるインターネット利用促進の取組
-時代に即したお客さまサービスの向上-
大阪市水道局 山崎 貴史
- 1-27 使用水量の分析
-新型コロナウイルス感染症の影響-
長崎市上下水道局 平山 洗哉
- 1-28 管外転出者の効果的な未納解消
-長事執行法改正に見る債権回収の効果-
東京都水道局 上木原 浩
- 1-29 給水装置工事窓口における待ち時間の短縮
第一環境 嵯峨 嘉彦
- 1-30 ICTを活用したお客様サービス満足度の向上及び業務の効率化に向けた取組
千葉県企業局 陶山 恭佑

給水装置部門（給水管）
16:10～16:55（計3題）
座長：東京都立大学特任教授 小泉 明

- 6-15 鉛製給水管対策10年の経過報告と課題
徳島市上下水道局 山口 泰範
- 6-16 耐震型サドル付分水栓を用いた給水管に生じる地震時ひずみに関する一考察
日邦バルブ 大島 拓也
- 6-17 配水管すべりが給水装置引込み部へ与える影響の評価
建築設備用ポリエチレンパイプシステム研究会 鈴木 剛史

10月19日（木）午後 計15題

第 3 会場

計画部門（施設更新計画）
13:00～14:30（計6題）
座長：九州大学大学院准教授 広城 吉成

- 2-25 松江市における水道管路ダクタイル鋼鉄管更新計画の策定
-リスク評価手法による優先順位の検討-
松江市上下水道局 糸賀 敬修
- 2-26 耐震化計画策定支援システムの構築（I）
-管路更新の優先順位決定手法-
吹田市水道部 細田 創
- 2-27 耐震化計画策定支援システムの構築（II）
-管路被害想定可視化と耐震化整備事業の効果検証-
吹田市水道部 村上 誠知
- 2-28 ストックマネジメント計画の策定と施策方針決定の合意形成に関する考察
-次の議論へ進むために-
岡崎市上下水道局 太田 靖人
- 2-29 中長期を見据えた施設マネジメントの取組
京都市上下水道局 伊藤 優一
- 2-30 浄水施設等におけるコンクリート構造物の予防保全型管理計画（II）
-詳細点検の結果及び補修要領の策定-
東京都水道局 太田 優弥

計画部門（事業評価とアセットマネジメント）
14:35～15:35（計4題）
座長：福岡大学教授 柳橋 泰生

- 2-31 君津地域水道事業の統合広域化
-統合効果と進捗状況の報告-
かずさ水道広域連合企業団 島海 直人
- 2-32 行政評価制度再構築の取組
-公営企業の変革に向けて-
岡崎市上下水道局 本多 広昌
- 2-33 水道広域化における効果の定量化
-神奈川県水道広域化推進プラン策定における事例-
東京設計事務所 下田 佑貴
- 2-34 再構築・耐震化・更新基準年数見直しを基本としたアセットマネジメント
東京設計事務所 畑 香織

計画部門（水需要・新型コロナウイルスの影響）
15:40～17:10（計6題）
座長：国立環境研究所室長 大野 浩一

- 2-35 夏冬の配水量分析と将来予測
福岡市水道局 稲貝 千紗
- 2-36 地下水利用が水道事業に与える影響度調査事例（I）
-適性な料金制度の検討に向けて-
八戸圏域水道企業団 相沢 俊
- 2-37 コロナ禍における水需要構造の変化
大阪市水道局 砂原 梨乃
- 2-38 単身世帯の将来の生活用水原単位予測のためのシナリオ分析
東京都立大学大学院 黄木 耀斗
- 2-39 コロナ禍前後における単身世帯の生活用水の使用実態の変化に関する一考察
東京都立大学大学院 松永 玲奈
- 2-40 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による水道需要の変動に関する研究
東京都水道局 平野 一成

10月19日（木）午後 計16題

第 4 会場

浄水部門（高度浄水処理②）
13:00～14:15（計5題）
座長：北海学園大学教授 山田 俊郎

- 4-31 阪神水道企業団におけるハロアセアミド類の除去性調査
阪神水道企業団 片木 孝徳
- 4-32 生物活性炭処理における層厚低減及び硝化能早期獲得に関する調査
東京都水道局 下陸 舞
- 4-33 富士山火山噴火による降灰が浄水処理に与える影響
東京都水道局 玉井 奈生子
- 4-34 小笠原村母島の帯磁性イオン樹脂処理導入効果と遊離塩素処理切り替え後のトリハロメタンの挙動
前澤工業 坂下 寛悟
- 4-35 非平衡粉末活性炭処理における最適注入率の決定法
大阪市水道局 寺田 一輝

浄水部門（騒音②）
14:20～16:05（計7題）
座長：八戸工業大学教授 鈴木 拓也

- 4-36 二成分系みかけケキ閉塞モデルの提案とその適用性評価
水ing 貝谷 吉英
- 4-37 騒ろ過浄水施設への浄水膜圧差予測モデルの適用と評価
東芝インフラシステムズ 平野 雅己
- 4-38 凝集-膜ろ過における不可逆的膜ファウリング抑制に向けた市販凝集剤の改質手法の開発
中央大学大学院 谷口 達弥
- 4-39 Pseudanabaena sp.に由来する有機物による膜ファウリングに対する前凝集処理の効果
国立保健医療科学院 井出 賢志
- 4-40 酸化グラフェン水処理膜の細孔サイズ制御によるファウリング抑制性能向上検討
日立製作所 佐久間 広貴
- 4-41 地下水処理における槽浸漬型膜ろ過設備の薬品洗浄の評価
-片山浄水所供用開始1年後の膜ファウリング-
吹田市水道部 庭田 明後
- 4-42 廃棄膜モジュールを再使用するための手法
-薬品洗浄業務で得られた知見-
フソウメンテック 久保谷 隆

浄水部門（AI支援）
16:10～16:55（計3題）
座長：金沢大学名誉教授 池本 良子

- 4-43 AIによる薬品注入ガイダンス装置の開発
研究
前澤工業 向地 博之
- 4-44 薬品注入管理におけるAIの活用
東京都水道局 木村 公哉
- 4-45 人工知能による中次重注入の自動制御実証試験
水ing 田中 雅仁

10月19日（木）午後 計15題

第 5 会場

リスク管理・災害対策部門（災害対応①）	
13:00～14:15（計5題）	
座長：名古屋大学准教授	平山 修久
9-17 安定供給のための効果的な流量モニタリング ～大寒波等の災害対策～	津山市水道局 岡田 泰裕
9-18 発災時初動対応の効率化 ～HPを利用した安否・参集ツールの導入～	仙台市水道サービス公社 梅原 亮
9-19 災害発生時における迅速な情報収集ネットワークの構築	日本水道協会秋田県支部 佐々木 夕奈
9-20 地図アプリケーションを活用した災害時の情報共有方策	愛知県企業庁 吹元 雅崇
9-21 西多摩エリアにおける風水害等に備えた取組	東京水道 阿部 千夏子

リスク管理・災害対策部門（災害対応②）	
14:20～15:35（計5題）	
座長：北海道大学大学院教授	岡部 聡
9-22 被災時対応のための上下水道部門別行動マニュアルの作成事例	日水コン 杉浦 純一
9-23 令和5年1月寒波対応に係るアンケート調査結果報告	新潟市水道局 前谷加奈子
9-24 火山降灰対策としての浄水場の覆蓋検討	横浜市水道局 緑 仁志
9-25 大規模地震発災時における水道システムの応急復旧の在り方に関する一考察	名古屋市上下水道局 山口 泰
9-26 福島県沖を震源とする地震被害アンケート調査結果	日本水道協会 樋口 輝

リスク管理・災害対策部門（災害対応③）	
15:40～16:55（計5題）	
座長：国立保健医療科学院特任研究官	秋葉 道宏
9-27 筑後川流域の水災害による断水被害の調査及び対策の検討	仙台市水道局 村山 俊平
9-28 水道管凍結に関する傾向分析 ～令和5年1月に発生した寒波の被害状況～	長崎市上下水道局 上田 優斗
9-29 広域断水に対する復旧作業 ～令和4年台風第15号による災害対応～	静岡市上下水道局 藤井 勇太
9-30 災害対応時における情報収集・発信の課題 ～令和4年台風第15号を事例として～	静岡市上下水道局 豊島 誠也
9-31 令和3年10月に発生した地震における部内空弁の被害状況及び対応	東京都水道局 塚田 秀樹

10月19日（木）午後 計15題

第 6 会場

水質部門（試験方法②）	
13:00～14:15（計5題）	
座長：国立保健医療科学院上席主任研究官	小坂 浩司
8-27 液体クロマトグラフ質量分析法によるフェオキシミン及び2-メチルイソボルネオールの新分析方法の検討	大阪市水道局 船附 壮一
8-28 ヘリウムガスに依存しない検査体制の構築に向けた浜松市の取組み	浜松市上下水道部 野代 尚靖
8-29 GC-MS法における窒素キャリアーガスの導入	浜松市上下水道部 村松真由子
8-30 分析用ヘリウムガスの供給不足への対応	横浜市水道局 奥田 舞衣
8-31 「鉛及びその化合物」の検査における採水方法の影響	大阪市水道局 柳瀬 剛士

水質部門（試験方法③）	
14:20～15:50（計6題）	
座長：東京農業大学教授	藤本 尚志
8-32 高分解能質量分析計を用いた水質異常原因物質の特定（Ⅰ） ～多変量解析の活用～	大阪市水道局 中野 耕太
8-33 高分解能質量分析計を用いた水質異常原因物質の特定（Ⅱ） ～誘導体化/ノンターゲットスクリーニング法の活用～	大阪市水道局 山田 圭一
8-34 バイオセンサーを用いた電気化学的手法による水中のマンガニンイオン（Ⅱ）濃度測定を試み	メタウォーター 長谷川 絵里
8-35 水道水中の塩化物イオン及び臭化イオンの測定における脱塩素剤の影響	埼玉県企業局 高橋 学
8-36 水道水中のヒドラジン試験方法の検討	埼玉県企業局 高橋 友成
8-37 PRTR物質の再選定と新規対象物質の一斉分析法の検討 ～東京水道独自の水質検査体制の充実に向けて～	東京水道局 吉岡 克英

水質部門（藻類・原虫）	
15:55～17:10（計5題）	
座長：石巻専修大学教授	高崎 みつる
8-38 次世代シーケンシング（NGS）を用いた河川水のクリプトスポリジウム汚染実態調査	神奈川県内広域水道企業団 鎌田 智子
8-39 藍藻毒シロドリロスポーモジシンの分析法の検討及び神奈川県下の水調査	神奈川県内広域水道企業団 小山 涼
8-40 分子生物学的手法による河床付着物中の <i>Microcoleus autumnalis</i> のカビ臭原因物質の産生に関する表現形質の推定	東京農業大学大学院 藤田 優里
8-41 藍藻類 <i>Pseudanabaena</i> 属の分子系統解析および2-メチルイソボルネオール産生能力の比較	東京農業大学 藤本 尚志
8-42 AIを活用した自動検鏡システムの開発	東京都水道局 田代 賢祐

10月19日（木）午後 計16題

第 7 会場

水質部門（消毒副生成物）	
13:00～14:45（計7題）	
座長：金沢工業大学教授	土佐 光司
8-43 E260と消毒副生成物の相関検証 メタウォーターサービス	上田 明人
8-44 知多浄水場における水道水の安全性・品質・経済性向上の取組み ～前塩素処理停止の課題と対応、その成果の報告～	愛知県企業庁 池田 佑
8-45 山間部の浄水場における消毒副生成物の対策事例	京都市上下水道局 大西 一範
8-46 官学連携による水質課題解決のための取組	豊田市上下水道局 松下 里美
8-47 中山間地域における消毒副生成物の実態把握に関する研究 ～総合的な消毒副生成物の管理を目指して～	豊田工業高等専門学校 松本 嘉孝
8-48 中山間地域を流下する水源河川における消毒副生成物生成能予測式の提案	豊田工業高等専門学校 江端 一徳
8-49 ファイロ藻に由来するハロ酢酸前駆物質の浄水処理操作による処理性の評価	京都大学大学院 辻坂 勇希

機械・電気・計装部門（監視制御）	
14:50～16:05（計5題）	
座長：中央大学研究開発機構機構教授	吉米 弘明
7-1 中央監視システム更新プロセスの事例 愛知郡広域行政組合	中川 大作
7-2 監視制御システムの集約 ～市町村域を越えた監視制御システムの構築～	大阪広域水道企業団 長嶋 謙吾
7-3 可搬式クラウド監視システムの実証事例 フジテコム	岸 寛
7-4 水道標準プラットフォームを利用した監視制御システムの再構築 ～5つのシステムの統一による維持管理の効率化とランニングコストの削減～	鹿児島市水道局 岩元 祐太
7-5 水道標準プラットフォームを活用した監視操作性評価 アズビル	遠藤 徹

機械・電気・計装部門（維持・運用）	
16:10～17:25（計5題）	
座長：東北大学大学院教授	西村 修
7-6 推定末端圧一定制御の導入による送水ポンプ設備更新 愛知県企業庁	柳尾 直樹
7-7 逐次更新型自己回帰モデルによる配水池水位の未来変動予測	アズビル 日岡 民生
7-8 河川表流水を水源とする浄水工程における前塩素注入量の自動制御可能性の検討（Ⅱ）	静岡県企業局 齊藤 将人
7-9 中尾配水池次亜塩素酸ナトリウムの急激な劣化に対する調査と対応	横浜市水道局 有我 拓馬
7-10 山間部施設における通信回線の課題と対応 ～モニタリングシステムの導入～	東京都水道局 小川 和彦

10月19日（木）午後 計17題

第 8 会場

導・送・配水部門（管路管理③）	
13:00～14:15（計5題）	
座長：北海道大学客員教授	石井 吉春
5-39 漏水事故データを活用した事故率推定式および管路更新シナリオ分析に関する考察	東京国立大学 平石 航太
5-40 補修弁の漏水事故と管路付属設備の点検方法見直しへの取組	福岡県南広域水道企業団 高山 章
5-41 千葉県営水道 管路情報閲覧システムの導入	千葉県企業局 藤ヶ谷 拓磨
5-42 漏水型点検ロボットによる送水トンネル点検の取組み ～持続可能な送水トンネル点検調査構築に向けて～	広島県水道広域連合企業団 山下 達也
5-43 水路ボックス内に布設された水道配水用ポリエチレン管の経年変化	長野県企業局 橋部 太一

導・送・配水部門（管路管理④）	
14:20～15:50（計6題）	
座長：東京大学大学院准教授	小瀬 久美子
5-44 導水トンネル内部の健全度調査 ～長距離水路隧道の現状把握～	長崎市上下水道局 尾崎 宗春
5-45 福岡導水トンネル40周年を迎え 水資源機構	藤松 純弘
5-46 漏水補修器具の開発	横浜市水道局 北村 昂人
5-47 配水小管スマートメータ（流量計）の開発	東京都水道局 岡田 佳久
5-48 門管路内における気水二相流の圧力波の解析	神戸大学大学院 七崎 千翔
5-49 配水小管スマートメータの導入と効果検証	東京都水道局 峯田 政賢

導・送・配水部門（管路工事（事例①））	
15:55～16:55（計4題）	
座長：東京都市大学教授	長岡 裕
5-50 河底を横過する配水幹線の整備概要 名古屋市上下水道局 大岩 大記	
5-51 φ2000mm 船戸水管橋における炭素繊維を用いた長寿命化工事	千葉県企業局 落合 遼馬
5-52 長距離、急曲線を含む推進シールド併用工法を用いた非開削・耐震管路の構築事例	栗本鐵工所 吉岡 高弘
5-53 「奥畑～妙法寺連絡管」整備事業 ～泥水式シールド工法の泥岩による課題と対応～	神戸市水道局 田部 龍太郎

10月19日（木）午後 計15題

第 9 会場

導・送・配水部門（管路技術②）	
13:00～14:30（計6題）	
座長：信州大学教授	小松 一弘
5-54 水道配水用ポリエチレン管用スクイズオフ（圧着止水）工法の採用 配水用ポリエチレンパイプシステム協会	池田 満雄
5-55 水道配水用ポリエチレン管の砂以外の埋戻し材適用に関する一考察 配水用ポリエチレンパイプシステム協会	大室 秀樹
5-56 伸縮機能を有する既設伸縮可とう管の補修材の開発 ～六十谷水管橋崩落を受けた耐震性向上と安定性確保～	和歌山市企業局 宮之原 和俊
5-57 メタルシート式トップエントリー偏心構造弁の開発	栗本鐵工所 河村 祥広
5-58 水道配水用ポリエチレン管採用口径の拡大 ～折戻リスクと有機溶剤暴露影響の検証～	岡山市水道局 林 高史
5-59 アニオン交換処理による水道水の非腐食性化	新菱冷熱工業 中村 勇二

導・送・配水部門（管路工事（発注方法））	
14:35～16:05（計6題）	
座長：神戸大学大学院教授	鍛田 泰子
5-60 モデル事業を通じた小規模簡易DBの効果検証 ～管路更新を促進する工事イノベーション研究会 研究経過報告～	日本ダクトイ鉄管協会 飯出 淳
5-61 「概算数量設計発注方式」の試行導入	千葉県企業局 芝崎 謙介
5-62 小規模簡易DB方式導入に向け事業体の特徴を踏まえた概算数量設計モデルの作成	日水コン 明石 詢子
5-63 基幹管路更新事業における管路DB方式の導入及び発注事例（Ⅱ）	日本水工設計 千葉 克史
5-64 設計積算CADシステムの概算数量設計方式への適用事例	管経研 開発 健太郎
5-65 概算数量設計手法による配水支管更新工事の実施報告	堺市上下水道局 清水 陽介

導・送・配水部門（耐震化・震災対策①）	
16:10～17:10（計4題）	
座長：東北学院大学名誉教授・客員教授	吉田 望
5-66 水道配水用ポリエチレン管の耐震設計のための常時荷重の考え方（Ⅰ） ～内圧と温度変化～	京都大学大学院 久保田 丈司
5-67 水道配水用ポリエチレン管の耐震設計のための常時荷重の考え方（Ⅱ） ～不同沈下と自動車荷重～	京都大学大学院 種子島 佑希
5-68 加振方向による埋設管の液状化浮上りへの影響	神戸大学大学院 鍛田 泰子
5-69 ステンレス鋼板製円筒形水槽の動的解析による耐震性能の検証	森松工業 行田 聡

10月19日（木）午後 計16題

研究発表の日程 —10月20日（金）午前—

第 1 会 場

脱炭素化部門（調査・推計）	
9:00～10:00（計4題）	
座長：京都大学大学院教授 越後 信哉	
10-16	水道システムにおけるカーボンニュートラル実現に向けた削減ポテンシャルの抽出方法の検討と課題 東京都立大学 酒井 宏治
10-17	水道システムにおける導水・送水系統の条件変更に伴うCO ₂ 削減ポテンシャル推計 京都大学 下ヶ橋 雅樹
10-18	大阪市水道局におけるCO ₂ 削減ポテンシャルの推計 —推計ツールの作成とツールを用いた送水系統の評価— 大阪市水道局 大瀬 脩平
10-19	水道システムにおける電力使用量の把握と電力削減量、CO ₂ 削減量の推計 国立保健医療科学院 小坂 浩司

機械・電気・計装部門（設備整備）	
10:05～11:35（計6題）	
座長：京都大学大学院教授 酒井 宏治	
7-11	中小規模水道施設機械・電気設備設計要領の改訂 —アンケート結果に基づいた設計事例の追加— 日本水道協会 菅原 洋
7-12	横道活性炭注入施設改良工事における設備改善の報告 神奈川県川原田水道企業団 加藤 和也
7-13	麗上浄水場における粉末活性炭注入設備の設計事例 京都市上下水道局 栗山 健一
7-14	施設老朽化に伴う流量計の更新 —現状分析と計器の選定— 室蘭市水道部 大町 朗
7-15	浄水を用いた大口径送水管への水力発電施工事例 —水圧変動を踏まえた施工— 札幌市水道局 清水 和実
7-16	アモルファス変圧器の採用評価 東京都水道局 尾川 清明

10月20日（金）午前 計10題

第 2 会 場

事務部門（研修・人材育成・人材確保）	
9:00～10:00（計4題）	
座長：北海道大学大学院教授 宇野 二郎	
1-31	福岡市水道の歴史継承の取組み —水道路を歩こう— 福岡市水道局 龍 達也
1-32	デジタルを活用した教育事例の紹介 —VRを利用した集合教育— 水ing 大平 拓磨
1-33	倉敷市水道局人材育成計画 —ステップアップ研修の導入（知識継承編）— 倉敷市水道局 高見 幸子
1-34	高校生出前講座「水を仕事にする」 —水道の若者技術者確保に向けた取組— 会津若松市上下水道局 横山 和郎

事務部門（情報システム）	
10:05～11:20（計5題）	
座長：関西大学教授 佐藤 雅代	

1-35	水道施設台帳システムの内製化によるナレッジマネジメントの構築 八尾市水道局 林 和志
1-36	高セキュリティカメラアプリを活用した漏水修繕業務のDX —写真等共有システムの開発— 岡山市水道局 逢澤 優人
1-37	大津市企業局管路情報閲覧システム —上下水道、ガス管路情報のインターネット公開— 大津市企業局 山中 克巳
1-38	水道事業のDX —映像通話システムを活用した事務の効率化— 大津市企業局 市岡 篤志
1-39	水道DXの実現に向けたワーキンググループの取組 会津若松市上下水道局 長谷川 恵一

事務部門（その他）	
11:25～12:25（計4題）	
座長：北海道大学大学院教授 宇野 二郎	

1-40	荒尾包括委託をフィールドにした官民連携のあり方研究 —あらおウォーターサービス— 山下 勉
1-41	開発途上国における水道法下の施策等に関する整理手法の考察 —「良い水道事業の創出」に向けた効果的な改善方策の開発— HICA 佐伯 孝志
1-42	インドネシア国マカッサル市における漏水対策への取組 川崎市上下水道局 奥野 浩史
1-43	重要給水施設への応急給水方法の調査からOJTへ —医療機関への調査を実施して— 東大阪市上下水道局 前島 敬子

10月20日（金）午前 計13題

第 3 会 場

リスク管理・災害対策部門（危機管理①）	
9:00～10:00（計4題）	
座長：東京大学大学院教授 片山 浩之	
9-32	水道事業の危機管理対策マニュアルの事例紹介 —能動的な行動を引き出すためのフローチャート形式の活用— オリジナル設計 宮元 孝一
9-33	減災を目的とした共同管内連絡管の被害想定と復旧検討 水工コン 阿部 まゆ美
9-34	湖都大津の水インフラを守る停電対策 —高圧発電機車リースと燃料供給を一体化、総合BCPパッケージ運用— 大津市企業局 奥野 誠
9-35	PCB 塗膜含有の水管橋の撤去計画 —調査から処分までの検討— 堺市上下水道局 大道 翔太

リスク管理・災害対策部門（危機管理②）	
10:05～11:05（計4題）	
座長：東京大学大学院教授 春日 郁朗	

9-36	千葉県営水道大規模災害時応援事業体用マニュアルの策定 千葉県企業局 鶴岡 達広
9-37	安定給水に向けた水系二系統化の取組 仙台市水道局 橋谷田 和正
9-38	計画策定、訓練、人材育成、技術継承等に資する被災シナリオと事想定マップの検討 名古屋大学 平田 明寿
9-39	G7広島サミットに係る広島市水道局の取組 広島市水道局 寺岡 亨

計画部門（ビジョン・中期経営計画・施設整備計画）	
11:10～12:25（計5題）	
座長：大阪大学大学院教授 下ヶ橋 雅樹	

2-41	堺市上下水道事業経営戦略2023～2030の策定 —次世代に健全な上下水道事業を引き継ぐために— 堺市上下水道局 小長井 拓馬
2-42	送配水施設整備計画の見直しにおける職員ワークショップの活用事例 奈良市企業局 下野 博久
2-43	施設の長寿命化を踏まえた浄水場の更新 東京都水道局 青木 直也
2-44	送水システムの安定性強化に関する取り組み —送水トンネル更生とバックアップ機能の強化— 神戸市水道局 山村 優
2-45	京都市上下水道事業中期経営プラン（2023～2027）の策定 京都市上下水道局 畠中 佑介

10月20日（金）午前 計13題

第 4 会 場

浄水部門（緩速ろ過）	
9:00～10:00（計4題）	
座長：麻布大学教授 大河内 由美子	
4-46	小規模浄水場における緩速ろ過池下部集水装置の点検 山形市上下水道部 菅井 敦久
4-47	緩速ろ過システムの安定化と効率化 —上向流ろ過研究施設による実験報告（Ⅱ）— 盛岡市上下水道局 川村 信吾
4-48	米内浄水場の更新に向けた上向流ろ過施設の実用性の検討 盛岡市上下水道局 佐々木 優樹
4-49	緩速ろ過池の生物膜に対する光の影響と青色LED照射の効果 福島工業高等専門学校 高荒 智子

浄水部門（浄水システム）	
10:05～11:05（計4題）	
座長：国立保健医療科学院主任研究官 三好 太郎	

4-50	軽量型加圧脱氯機の検討 石垣 土井 博司
4-51	急速ろ過池の健全性に関する報告 神奈川県企業局 杉本 友也
4-52	励起フルボ酸を過酸化水素と優先的に反応させる新水処理システム開発 お茶の水女子大学 海賀 信好
4-53	ハニカム構造式接触材を用いた沈澱施設による導水管閉塞対策 松山市公営企業局 加田 博之

浄水部門（ろ過・紫外線処理）	
11:10～11:55（計3題）	
座長：京都大学大学院教授 越後 信哉	

4-54	除鉄除マンガンの過機洗浄排水に対する上向流式連続移動床砂ろ過装置のろ過濃縮性能調査 理水化学 山口 絳加里
4-55	長期使用急速ろ過機における微細気泡を混合した2相流逆洗による洗浄効果 ヤマト 吉田 杏梨
4-56	UV-LED消毒装置の開発 —水銀ランプ装置との比較による実用性評価（Ⅱ）— 水ing 五十嵐 倫子

10月20日（金）午前 計11題

第 5 会場

導・送・配水部門（水管橋）	
9:00～10:30（計6題）	
座長：千葉大学大学院教授	丸山 喜久
5-70	画像と点群を用いた長大水管橋点検のための一次スクリーニング手法の検討 札幌市水道局 鹿戸 皇希
5-71	橋梁点検プラットフォームへの水管橋実装の試み 札幌市水道局 関 拓矢
5-72	水管橋劣化状況の物理的検査・点検 新日本設計 武田 美輝
5-73	ドローンを活用した水管橋の点検 日本鋼鉄管 高橋 光二
5-74	住宅密集地域におけるドローンを用いた水道施設の手検手法 － Aqua-Bridge プロジェクトの取組みから－ 水道技術研究センター 水野 陽介
5-75	住宅密集地域におけるドローンや特殊カメラ等を活用した水管橋点検 豊中市上下水道局 池上 聡宣

導・送・配水部門（管路管理⑤）

10:35～12:05（計6題）	
座長：中央大学教授 山村 寛	
5-76	配水管を断水せずに水道用サドル付分水栓からの漏水を補修する器具の改良 横浜市水道局 山元 健郎
5-77	中大口径管路における仕切弁の断水による修繕工法 大阪市水道局 釘田 空
5-78	ダクタイル鋳鉄管φ2200～600×200人孔ふた部における「抜出防止付凍結工法」の双口空気弁取替え工事 東海 英郎
5-79	京都市における水道管路の維持管理（Ⅰ） －消火栓放水による計画的な配水管洗浄作業－ 京都市上下水道局 外村 繁幸
5-80	京都市における水道管路の維持管理（Ⅱ） －洗浄放水に係る技術継承の取組み－ 京都市上下水道局 森田 雅夫
5-81	水温補正した追加塩素地点の残留濃度目標値による末端配水池残留濃度管理の一検討 ヤマト 川端 洋之進
10月20日（金）午前 計12題	

第 6 会場

水質部門（送配水・給水・水質管理①）	
9:00～10:15（計5題）	
座長：大阪工業大学教授	笠原 伸介
8-50	小規模水供給システムにおける限定的な情報に基づく飲料水の安全確保法 京都大学大学院 曾 潔
8-51	大阪広域水道企業団における一般細菌対応 大阪広域水道企業団 水町 昌代
8-52	水質モニターの維持管理の取り組み 大阪広域水道企業団 秋丸 貴也
8-53	栗国浄水場における臭素酸の生成調査（Ⅱ） 沖繩県企業局 間下 尚紀
8-54	定期検査場所の最適化 広島市水道局 小波石 佳奈

水質部門（送配水・給水・水質管理②）

10:20～11:50（計6題）	
座長：国立保健医療科学院上席主任研究官 島崎 大	
8-55	浄水池のE260測定による残留塩素濃度低下の予測モデル データベース 串田 隆佑
8-56	姉崎分場への塩素多点注入方式導入による残留塩素低減化 千葉県企業局 林 拓実
8-57	DPD法による漏水判定時の残留塩素誤検出の解消への取り組み 川崎市上下水道局 濱田 薫
8-58	次亜塩素酸ナトリウムの選択的分析による残留塩素疑似反応への対応 川崎市上下水道局 川崎 光一
8-59	イオンクロマトグラフ分析装置による漏水判定 －AI技術の応用による判定方法の検討－ 郡山市上下水道局 木村 和貴
8-60	東京都水道局における漏水判定試験の実施状況 東京都水道局 上原 大輝
10月20日（金）午前 計11題	

第 7 会場

水源・取水部門（水源水質監視）	
9:00～10:30（計6題）	
座長：県立広島大学教授	橋本 温
3-1	カド臭原因藍藻類の監視強化に向けた迅速モニタリング手法の検討 大阪広域水道企業団 三長 裕
3-2	道志川における2-MIB濃度の上昇・減少予測式の構築 横浜市水道局 海野 佑太
3-3	スペクトル画像と深層学習を用いた原水中の藍藻・珪藻検出 東芝インフラシステムズ 野田 周平
3-4	遠州水道における臭気物質を産生する藍藻類とダム湖底質の影響 静岡県企業局 東城 大
3-5	千羽貯水池におけるラフィド藻の動態および浄水処理特性 神戸市水道局 大森 惇平
3-6	近年のかび臭発生状況とその対応 京都市上下水道局 山本 桂詩

水源・取水部門（水源安全管理）

10:35～11:35（計4題）	
座長：東京都立大学教授 横山 勝英	
3-7	水質異常時における行政機関等との連携 埼玉県企業局 森田 久男
3-8	さく井工事における層別採水方法 －帯水層ごとの能力及び水質の確認－ 熊本市上下水道局 五嶋 雄史
3-9	小河内貯水池流域における森林GISの構築と森林特性の分析 東京都立大学 岩間 友宏
3-10	林道一ノ瀬線における災害復旧工事の施工報告 －崩壊地での災害復旧工事－ 東京都水道局 本坊 将志
10月20日（金）午前 計10題	

第 8 会場

導・送・配水部門（耐震化・震災対策②）	
9:00～10:00（計4題）	
座長：金沢大学名誉教授	宮島 昌克
5-82	取水施設の耐震対策 －外部補強による対策工－ 静岡県大井川広域水道企業団 大石 直嗣
5-83	水撃発生時における空気弁破損の原因と検証 清水合金製作所 中村 海斗
5-84	バックアップシステムを活用した浄水場の耐震化工事事例 札幌市水道局 渡辺 慎也
5-85	地震時の管路内における水圧変動の発生要因に関する振動実験 福井工業高等専門学校 銅 健吾

導・送・配水部門（配水池①）

10:05～11:20（計5題）	
座長：立命館大学教授 神子 直之	
5-86	周辺施設の制約を受ける浄水場内でのアイランド工法適用事例 －柴島浄水場内配水池更新事業－ 大阪市水道局 内 一徳
5-87	豊見城配水池建替えに伴う配水計画と施工計画 那覇市上下水道局 伊敷 力
5-88	既存配水池におけるアスベスト（石棉）の処理工事施工報告 安部日鋼工業 河野 雅弘
5-89	榎木配水池の設計・施工（Ⅰ） －基本構造形式の選定と施工管理－ 安中市上下水道部 土屋 勝
5-90	榎木配水池の設計・施工（Ⅱ） －動的非線形解析による耐震安全性照査－ JFEエンジニアリング 池田 直生

導・送・配水部門（配水池②）

11:25～12:25（計4題）	
座長：福島工業高等専門学校准教授 高荒 智子	
5-91	松ヶ崎浄水場高区1・2号配水池改良工事の事例紹介 京都市上下水道局 水谷 俊介
5-92	無塗装PCタンクにおけるひび割れ対策実施事例 安部日鋼工業 川出 健人
5-93	水運用を考慮した複数の配水池更新・改修計画の策定 香川県広域水道企業団 中尾 信博
5-94	地震時における水道施設配水池内柱状構造物による堆積物舞い上がり現象 －柱状物下部からの堆積物上昇－ 日本水中ロボット調査清掃協会 安井 國雄
10月20日（金）午前 計13題	

第 9 会場

導・送・配水部門（漏水調査・漏水防止①）	
9:00～10:00（計4題）	
座長：鳥取大学学長顧問	細井 由彦
5-95	水道管路の漏水判定に関するAIモデルとベータン調査員による評価結果の比較 東京都立大学大学院 董 シンイ
5-96	フーリエ変換及びリカレンスプロットを援用した疑似漏水音の可視化 東京都立大学大学院 荒井 康裕
5-97	衛星画像とAIを活用した漏水調査の実証実験 北九州市上下水道局 石川 崇仁
5-98	GISオープンデータを用いた管路の修繕発生傾向分析 アジア航測 谷口 靖博

導・送・配水部門（漏水調査・漏水防止②）

10:05～11:20（計5題）	
座長：東京都立大学大学院准教授 橋本 崇史	
5-99	トレーサ式漏水調査を含む倉敷市水道局の漏水調査業務 倉敷市水道局 山室 雅暉
5-100	水道用ソフトシール仕切弁の長期止水性能に関する検証（最終報告） 盛岡市上下水道局 杉浦 幸憲
5-101	断水による台座付きフランジ継手部への漏水補修対策 津山市水道局 花田 徹
5-102	台座付きフランジ継手部への漏水補修金具の開発 －3次元粉体積層造形機の活用事例－ コスモ工機 齋藤 泰彦
5-103	口径900mm国見第一配水幹線大規模漏水事故の概要 仙台市水道局 荒谷 慶一

浄水部門（PFAS処理）

11:25～12:10（計3題）	
座長：帝京平成大学名誉教授 西村 哲治	
4-57	粒状活性炭処理における有機フッ素化合物の透過におよぼす水質の影響 国立保健医療科学院 中沢 積文
4-58	粉末活性炭を用いた環境水中の有機フッ素化合物の除去効果 メタウォーター 後藤 寛和
4-59	地下水中PFASの陰イオン交換処理において重要な樹脂特性の検討 金沢大学 原 宏江
10月20日（金）午前 計12題	

研究発表の日程 —10月20日（金）午後—

第 1 会 場

機械・電気・計装部門（ICT） 13:00～14:15（計5題） 座長：東京大学大学院准教授 橋本 崇史	
7-17	水質自動監視システムのクラウド化 八尾市水道局 坂口 亮太
7-18	リモート立会の導入による工事監理の効率化 明石市水道局 小島 徹也
7-19	現場点検システムの導入と運用にあたっての対応 東京水道 丹治 雅尋
7-20	監視カメラにおけるクラウド利用方法の提案 横河ソリューションサービス 畑 正明
7-21	プラント情報の相互運用性を支える OPC UA を利用したシステム連携の取組 横河ソリューションサービス 篠木 勇治
10月20日（金）午後 計5題	

第 2 会 場

計画部門（その他計画） 13:00～14:15（計5題） 座長：東京都立大学准教授 酒井 宏治	
2-46	土木工事における現場稼働期間の平準化に向けた調査 横浜市水道局 大石 泰司
2-47	西谷浄水場の再整備と文化財保護の共存 —多軸台車による国登録有形文化財の移設— 横浜市水道局 島 宏之
2-48	長崎市水道事業における給水区域の最適化 長崎市上下水道局 山口 拓海
2-49	豊平川水道水源水質保全事業における対外対応 —円滑な事業進捗に向けた関係機関との調整— 札幌市水道局 西野 聡史
2-50	市町合併に伴う複数の監視運用システムのための根拠の統合 米子市水道局 草原 ひかる
10月20日（金）午後 計5題	

第 3 会 場

計画部門（中小規模の課題解決） 13:00～14:15（計5題） 座長：国立保健医療科学院統括研究官 増田 貴則	
2-51	小規模水道・水供給システムの維持管理に関する経営シミュレーション（Ⅲ） 国立保健医療科学院 木村 昌弘
2-52	用水供給事業体と受水団体間における水道技術連携交流事業の取組（Ⅰ） —全体概要— 会津若松地方広域市町村圏整備組合 橋 昌宏
2-53	用水供給事業体と受水団体間における水道技術連携・交流事業の取組（Ⅱ） —令和4年度の取組成果— 会津美里町建設水道課 谷澤 貞倫
2-54	水質自動監視装置を用いた水質管理の実態と展望 —厚生労働科学研究費補助金による研究の成果— 水道技術研究センター 市川 学
2-55	官民連携手法を活用した簡易水道事業創設時の経営基盤強化に関する事例報告 NJS 及田 清佳
10月20日（金）午後 計5題	

第 4 会 場

浄水部門（高塩基度凝集剤） 13:00～14:30（計6題） 座長：国立保健医療科学院主任研究官 浅田 安廣	
4-60	塩基度の異なるポリ塩化アルミニウムを用いた凝集沈殿処理による微粒子の除去性比較 神奈川県企業庁 葛西 淳也
4-61	柏井浄水場東側施設における高塩基度 PAC の性能評価 千葉県企業局 井上 宏隆
4-62	茂庭浄水場における超高塩基度 PACI の有効性 仙台市水道局 小繩 康之
4-63	超高塩基度 PAC の導入効果（Ⅰ） —緩速攪拌強度最適化の検討— 神奈川県企業庁 溝口 真二郎
4-64	超高塩基度 PAC の導入効果（Ⅱ） —高速凝集沈殿池のスラッジ界面管理及び薬品注入量低減化の影響— 神奈川県企業庁 工藤 不二雄
4-65	超高塩基度 PAC の導入効果（Ⅲ） —排水処理工程における汚泥量減少等の定量的評価— 神奈川県企業庁 鈴木 雅之
10月20日（金）午後 計6題	

第 5 会 場

導・送・配水部門（管路管理⑥） 13:00～14:15（計5題） 座長：国立保健医療科学院上席主任研究官	
	島崎 大
5-104 気水二相流による水塊を利用した管内洗浄の研究 中里建設	沼尾 一利
5-105 自動排水装置の冬期間における積雪寒冷地適応性評価（Ⅰ） －低温環境下での性能検証－ 栗本鐵工所	山本 雅之
5-106 自動排水装置の冬期間における積雪寒冷地適応性評価（Ⅱ） －配水施設への影響及び運用検証－ 旭川市水道局	丹野 碧彦
5-107 高流動淡水中における既設鋼製水路への電気防食の長期適用結果 ナカポータック	大庭 忠彦
5-108 夾雑物への対応 －簡易で即効性のあるシールコートの除去方法－ 岡崎市上下水道局	柴田 哲史
10月20日（金）午後 計5題	

第 6 会 場

リスク管理・災害対策部門（事故対応②） 13:00～14:15（計5題） 座長：東京大学大学院教授	
	片山 浩之
9-40 六十谷水管橋崩落に伴う緊急復旧工事の報告 日鉄パイプライン&エンジニアリング	木村 颯太
9-41 荒川水系で発生したジクロロメタン流出事故における埼玉県企業局の対応 埼玉県企業局	宇津木 紀昭
9-42 水質事故時等の対応力強化に向けた未知物質特定手法の検討 －LC/TOF-MS－ 東京都水道局	天野 芽子
9-43 長期不使用給水管整理事業 東京都水道局	田村 遼地
9-44 中山間地における水質異常時の「摂取制限を伴う給水継続」を想定した情報伝達訓練 豊田市上下水道局	小宮山 正造
10月20日（金）午後 計5題	

第 7 会 場

導・送・配水部門（管路工事（事例②）） 13:00～14:15（計5題） 座長：千葉大学大学院教授	
	丸山 喜久
5-109 不排水による不凍急排形空気弁交換工法 茨城県企業局	道口 直人
5-110 不同沈下量に応じた伸縮可換継手の選定方法 日本ニューロン	松本 大
5-111 ため池堤防の縦断に伴う水道管の二重化計画 アクアプランニング	厚田 和紀
5-112 送水管ネットワークを活用した工事期間中の安定給水の確保 －第二朝霞上井草線朝霞浄水場接続工事期間中の運用変更－ 東京都水道局	三浦 裕太
5-113 大口径の断水接続工事における課題と対応 －東京都水道局内における最大級の送水管（φ2600mm）－ 東京都水道局	義本 悠希
10月20日（金）午後 計5題	

第 8 会 場

導・送・配水部門（水運用・配水調整） 13:00～14:00（計4題） 座長：県立広島大学教授	
	西村 和之
5-114 冗長性のある管路システム構築に向けた取組 川崎市上下水道局	西田 陵
5-115 スマートメータを活用した配水運用管理の取組み事例 みおつくし工水	石渡 泰
5-116 柔軟な水運用によるリスク軽減と省エネルギー対策 徳島市上下水道局	上田 直希
5-117 管網計算・数値技術を用いた統廃合支援システムと適用例 日立製作所	小泉 賢司

10月20日（金）午後 計4題

第 9 会 場

リスク管理・災害対策部門（耐震設計・診断） 13:00～14:30（計6題） 座長：金沢大学名誉教授	
	宮島 昌克
9-45 合理的な耐震診断による耐震化事業費の削減 －耐震化率の向上を目指して－ 静岡県大井川広域水道企業団	大野 拓郎
9-46 水道施設耐震工法指針・解説2022改訂を受けた配水池の耐震化（耐震計算法の選定） －小幡野第一配水池の耐震化－ 北九州市上下水道局	石田 洋一郎
9-47 静的解析と動的解析による取水施設の耐震診断事例 日本水工設計	北島 大地
9-48 ステンレス鋼製角形配水池の振動台実験によるバルジング現象の検証 JFE エンジニアリング	鈴木 祐輔
9-49 危機耐性に対応した耐震設計事例 NJS	根岸 悠哉
9-50 既設 RC 池状構造物のせん断照査における三次元材料非線形解析の適用 NJS	山田 直史
10月20日（金）午後 計6題	

部門別発表数

事務43、計画55、水源・取水10、浄水65、導・送・配水117、給水装置17、機械・電気・計装21、水質60、リスク管理・災害対策50、脱炭素化19、英語11、計468

※発表論文のタイトルおよび発表者とその所属は8月31日現在のものです。

発表者各位へ

- 発表するセッションの開始1時間前（午前最初のセッションは30分前）までに該当発表部門の会場受付へお越しください。
- 研究発表時間は1人12分間で質疑応答時間は3分です。
- 研究発表終了後も質疑応答が終了するまで必ず発表者席で待機してください。
- 発表者の欠席などにより発表時間が繰り上がることがあります。
- 欠席する場合は必ず前もってご連絡ください。登壇者の変更は共同執筆者に限ります。

